

10 月定例教育委員会会議録

開催年月日	平成29年10月26日(木)																												
開催日時	午後3時00分																												
開催場所	市役所別館 3階会議室																												
出席委員	<table border="0"> <tr> <td>教育長</td> <td>三笥 眞治郎</td> <td>職務代理者</td> <td>諫 本 憲 司</td> </tr> <tr> <td>委員</td> <td>永 山 真 江</td> <td>委員</td> <td>岡 部 博 昭</td> </tr> <tr> <td>委員</td> <td>佐 藤 る り</td> <td>委員</td> <td>木 下 靖 郎</td> </tr> <tr> <td>委員</td> <td>奥 平 和 子</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	教育長	三笥 眞治郎	職務代理者	諫 本 憲 司	委員	永 山 真 江	委員	岡 部 博 昭	委員	佐 藤 る り	委員	木 下 靖 郎	委員	奥 平 和 子														
教育長	三笥 眞治郎	職務代理者	諫 本 憲 司																										
委員	永 山 真 江	委員	岡 部 博 昭																										
委員	佐 藤 る り	委員	木 下 靖 郎																										
委員	奥 平 和 子																												
出席参与	<table border="0"> <tr> <td>教育次長</td> <td>鈴木 俊行</td> <td>教育総務課長</td> <td>江田 正彦</td> </tr> <tr> <td>学校教育課長</td> <td>仲 はるみ</td> <td>社会教育課長</td> <td>池田 寿生</td> </tr> <tr> <td>文化財保護課長</td> <td>梶原 康弘</td> <td>兼 博物館長</td> <td></td> </tr> <tr> <td>威宜園教育研究センター長(代理)</td> <td></td> <td>淡窓図書館長</td> <td>原田 豊司</td> </tr> <tr> <td>主幹(総括)</td> <td>高村智恵美</td> <td>体育保健課長(代理)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>学校給食センター長</td> <td>永瀬 常富</td> <td>主幹(総括)</td> <td>園田恭一郎</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>人権・同和教育室長</td> <td>伊藤 伸也</td> </tr> </table>	教育次長	鈴木 俊行	教育総務課長	江田 正彦	学校教育課長	仲 はるみ	社会教育課長	池田 寿生	文化財保護課長	梶原 康弘	兼 博物館長		威宜園教育研究センター長(代理)		淡窓図書館長	原田 豊司	主幹(総括)	高村智恵美	体育保健課長(代理)		学校給食センター長	永瀬 常富	主幹(総括)	園田恭一郎			人権・同和教育室長	伊藤 伸也
教育次長	鈴木 俊行	教育総務課長	江田 正彦																										
学校教育課長	仲 はるみ	社会教育課長	池田 寿生																										
文化財保護課長	梶原 康弘	兼 博物館長																											
威宜園教育研究センター長(代理)		淡窓図書館長	原田 豊司																										
主幹(総括)	高村智恵美	体育保健課長(代理)																											
学校給食センター長	永瀬 常富	主幹(総括)	園田恭一郎																										
		人権・同和教育室長	伊藤 伸也																										
書記	教育総務課 総務企画係 主幹(総括) 衣笠 雄司																												
附議議案	<p>議案第64号 日田市所蔵美術品等保存委員会委員の委嘱について</p> <p>報告第17号 平成29年9月期寄附採納について</p> <p>報告第18号 教育に関する事務の管理及び執行の状況についての点検及び評価報告書の外部評価員からの意見書について</p> <p>報告第19号 旧日田市立大山中学校の校舎等の取り壊しについて</p> <p>報告第20号 旧日田市立塚田小学校の校舎等の取り壊しについて</p>																												

教 育 次 長	<p>皆さん、こんにちは。定例教育委員会の前に、御報告がござい ます。9月の市議会におきまして、岡部委員と奥平委員が、議会の同 意をいただきまして、10月の6日に市長から辞令が交付されたと ころでございます。</p> <p>岡部委員の任期につきましては、今年10月1日から平成33年 9月30日までの4年間、そして、奥平委員につきましては、今年 10月6日から平成33年10月5日までの4年間でございます。</p> <p>それでは、お二人の委員さんから御挨拶をいただきたいと存じま す。</p> <p>(岡部委員、奥平委員 あいさつ)</p>
教 育 次 長	<p>ありがとうございました。御報告は以上でございます。</p>
教 育 長	<p>それでは、ただいまから10月定例教育委員会を開催いたしま す。</p> <p>まず、前回の議事録の確認でございますが、9月定例教育委員会 の議事録について変更ございませんでしょうか。（「ありません」 と呼ぶ者あり）では、御了解いただきましたら、本会議終了後に署 名をお願いいたします。</p> <p>続きまして、教育長の報告事項でございますが、お手元に配付し ております資料によりまして報告にかえさせていただきます。</p> <p>それでは、早速議事に入りたいと思います。</p> <p>議案第64号について、事務局より説明をお願いします。</p>
教 育 次 長	<p>議案集の1ページをお開きください。</p> <p>議案第64号、日田市所蔵美術品等保存委員会委員の委嘱につい てでございます。</p> <p>委員の任期満了に伴いまして、日田市所蔵美術品等保存委員会 の規則の規定に基づきまして、委員の委嘱をするものでございます。</p> <p>社会教育課から説明を申し上げます。</p>
社会教育課長	<p>議案第64号、日田市所蔵美術品等保存委員会委員の委嘱につい てでございますが、申しわけありません、先に1カ所訂正をお願い します。</p> <p>委員名簿の初めの方でございます。中川先生のところでございま すが、備考欄の（社）日本インテリアデザイナーとなっております です。社団法人の略号を記載しておりますが、正しくは公益社団法人 でございますことから、「公」の文字を1文字書き入れていただき</p>

	<p>まして、公益社団法人の「公社」と訂正をお願いいたします。</p> <p>それでは、御説明させていただきます。委員の定数は15名以内で組織することと定められており、委員の任期満了に伴い、公益社団法人日本インテリアデザイナー協会の名誉会長、中川千年様以下、次の2ページになります。一番下の教育委員会教育長三笥眞治郎様まで、11名の皆様に委員の委嘱を行うものでございます。</p> <p>11名のうち再任が9名、新任が2名となっております。</p> <p>任期は、本年10月1日から平成31年9月30日までの期間でございます。</p> <p>なお、次の3ページに委嘱の根拠ともなります委員会規則を添付させていただきます。</p> <p>以上でございます。よろしく申し上げます。</p>
<p>教 育 長</p>	<p>それでは、議案第64号について説明がありましたが、ご質問等がございますか。（「なし」と呼ぶ者あり）</p> <p>よろしいですか。それでは、議案第64号については、原案のとおり可決してもよろしいでしょうか。（「異議なし」と呼ぶ者あり）</p> <p>それでは、議案第64号、日田市所蔵美術品等保存委員会委員の委嘱については原案のとおり可決いたします。</p> <p>本日の議案は以上でございます。</p> <p>続きまして、報告事項に移ります。</p> <p>報告第17号について説明をお願いいたします。</p>
<p>書 記</p>	<p>それでは、議案集の4ページをお願いいたします。</p> <p>報告第17号、平成29年9月期寄附採納についてでございます。</p> <p>まず、地区寄附の採納でございますが、4件となっております。1件目と2件目は、東部中学校育友会様から、東部中学校へパイプ式テント4張り、50万4,000円相当とプロジェクター1台、22万8,980円相当を御寄附いただいております。</p> <p>3件目は、田中建設株式会社様から南部中学校へ、朝日写真ニュース1年間分、4万円相当を御寄附いただいております。</p> <p>なお、田中建設株式会社様からは、平成6年度より、毎年同様の御寄附をいただいております。</p> <p>4件目は、北部中学校育友会様から、北部中学校へ冷水機1台、13万3,920円相当を御寄附いただいております。</p> <p>続きまして、一般寄附の採納でございますが、3件となっております。この3件につきましては、いずれも今年7月の九州北部豪</p>

<p>教 育 長</p>	<p>雨被害に対します支援として御寄附いただいているものでございます。</p> <p>まず1件目は、日田ロータリークラブ様ほか3団体が大分駅前前で実施をされました合同募金活動によります17万9,184円を、小野小学校と大明小学校へ御寄附いただいております。</p> <p>2件目は、日田を元気にする27日の会様から、小野小学校、戸山中学校、大明小中学校へ、図書カード24万9,000円相当を御寄附いただいております。</p> <p>3件目は、全日本教職員組合様から、市内小中学校に対しまして70万円の御寄附をいただいております。</p> <p>9月につきましては、以上7件で、金額が87万9,184円と物品相当額115万5,900円、合わせまして203万5,084円相当の御寄附をいただいております。</p> <p>報告第17号につきましては、以上でございます。</p> <p>それでは、報告第17号について御質疑がありますでしょうか。 （「なし」と呼ぶ者あり）よろしいですか。</p> <p>それでは、続きまして報告第18号について説明をお願いします。</p>
<p>教育総務課長</p>	<p>議案集5ページをお願いいたします。</p> <p>報告第18号、教育に関する事務の管理及び執行の状況についての点検及び評価報告書についての外部評価員からの意見書についてでございます。</p> <p>この件につきましては、8月に委員の皆様方に御出席いただきまして、大分大学の山崎先生、久留米大学の森先生、別府大学の長尾先生に外部評価として評価をお願いいたしました。</p> <p>先生方から意見書が届きましたので、資料の5ページから13ページにかけて原文を掲載しております。</p> <p>私から、それぞれの先生方の意見書の主な項目を説明させていただきます。</p> <p>なお、今後の予定としましては、意見書を28年度の点検評価報告書の最終ページに追加しまして、12月市議会の教育福祉委員会で説明し、市のホームページに掲載したいと考えております。</p> <p>それでは、5ページから大分大学の山崎先生の内容でございます。教育委員会の運営・活動についてでございます。</p> <p>教育委員会会議につきましては、計17回開催され、審議案件等も広範囲にわたり、会議の活性化に努めているということで評価をいただいております。</p>

それから、総合教育会議の開催によりまして、市長部局との教育施策の方向性を共有していること、それから第6次日田市総合計画の策定に際し、教育委員が審議員として政策の意思決定過程に参画するなど、教育委員会の活性化への取組がなされていることなども評価をいただいております。

続きまして、2番目の事務・事業の管理及び執行についてでございます。

日田市教育行政実施方針に則った主な取組が滞りなく展開されているものと理解されるが、必ずしもこのように考えることができないところもある。評価方法や評価の観点を見直すことで、これらの問題を解決することが可能であるとの指摘をいただいております。

続きまして、3番目の社会教育の充実でございます。

定量的に評価が不可能な事業もあるが、できるだけ客観性に基づいた評価が求められる。特に図書館機能の充実と読書活動の推進は、地域の人々の視点から取り組まれている事業で、一層の充実が期待される。

続きまして、4番目の文化芸術の振興です。

日田市は文化財も豊富であり、それを活用しての人材育成は、日田市教育委員会が目指す目標である。

ランドヤ古墳群保存整備事業は、進捗度が3評価であり、理由を検証し、早急に問題を解決することが求められる。

最後のまとめでは、平成27年度、28年度の評価は、主観的基準が多く用いられ、また言葉として達成値や目標値が用いられているが、その値が示されていないなど、評価書として問題点がある。新しい日田市教育行政実施方針に沿った評価では、このような問題が改善されるよう期待したいとのご意見をいただいております。

続きまして、8ページをお願いいたします。

久留米大学の森先生の意見書でございます。

1番目の教育委員会の運営・活動についてでございます。

咸宜園跡と関連する地域は、近世日本の教育遺産群として日本遺産に認定され、社会教育の拠点である市複合文化施設A O S Eを開設しており、これらの教育文化施設が日田市の教育基盤の整備として大きな役割を果たすものと考えられる。また、日田祇園曳山行事がユネスコ無形文化遺産に登録されたことは、教育行政が担う芸術文化の保存と振興の成果として評価されております。

次に、2番目の事務・事業の管理及び執行についてでございます。

学校教育の充実において、咸宜園教育の理念を生かした学校経営の推進は、咸宜園教育を学校教育と学校経営の基盤に置いたもの

で、日田市教育委員会はこのやり方を教育方針理念の一つとして、多くの手法を用いて情報の発信に努めている。このことは、学校教育、社会教育ともに多大な成果をもたらしていて、教育成果の高い評価と連動しているとの評価をいただいております。

続きまして、社会教育の充実でございます。

日田市の社会教育行政で、平成28年度に最も注目された業績は、社会教育の中核的な施設としてA O S Eが開設されたことで、文化芸術の底上げにも大きな役割を果たすことを期待されるというものでございます。

次に、4番目の文化芸術の振興です。

平成27年度には、咸宜園跡や豆田町周辺が近世日本の教育遺産群として日本遺産に認定され、平成28年度に咸宜園開塾200年を記念した関連事業を開催されたことは特筆できる。日田市は、市町村合併により特色ある文化施設が多く点在するようになったが、文化施設の統一した情報発信がなされていない。教育行政と観光行政が連携した「豊かなまちづくり」に文化施設の活用を欠かすことができない。文化財・文化施設の保存と活用等の検討を提案いただいております。

続きまして、10ページからが別府大学、長尾先生の意見書です。

1番目の教育委員会の運営・活動については、子供の教育には、保護者以上にもっと多くの地域住民がかかわっている。また、子供教育だけが教育懇談会のテーマではない。生涯学習、社会教育の観点からいえば、成人の学習や子供・若者の学校外教育など、重要なテーマがある。保護者だけでなく、幅広い教育関係者との意見交換が求められる。

2番目の事務・事業の管理及び執行については、学校教育の充実において、「確かな学力の育成」については、昨年度に引き続きA評価であったが、大分県学力定着状況調査においては、目標値との乖離が大きく、これだけを見るとA評価はできない。目標値が高過ぎると思われ、現実的ではないとの指摘をいただいております。

3番目の社会教育の充実でございます。

「社会教育における専門性を持った人材の育成」では、総合評価Aとなっている。職員の専門意識や地域づくりの力量の高さは他地域からも注目されており、他地域との実践交流も始まっている。種々の研修への非常に強い意識が感じられることから、今後さらに現職教育の機会が持てるような環境整備が望まれるとの評価と課題をいただいております。

意見書につきましては、以上でございます。

教 育 長	<p>それでは、外部評価員の先生方からの検証についての説明がございました。これについて何か御質疑等がございますか。</p>
岡 部 委 員	<p>この先生方の御意見については、こういう意見をしていただいたということで終わっていいのでしょうか。山崎先生の御意見の中で、6ページの真ん中ぐらいに、「たとえば主な取組②「確かな学力の育成」に関してしてみると、平成28年度の教育行政実施方針の目標達成度からみる達成値はすべて目標値を下回っている。しかし、総合評価はA評価である。このような評価の方法は多くの項目で見られる。再度評価の方法を検討すべきであるといえよう」とあります。確かにそうだと思います。</p> <p>このご意見に対しては、もう28年度はこのままで変更しない、そういう解釈でいいんですか。来年から考えましょうという御指摘ということでいいのでしょうか。</p>
教育総務課長	<p>御意見いただきましたが、新しい教育行政実施方針を今年度策定しまして、この点については来年から見直しを行いたいと考えております。全てが数値化できるようなものではございませんが、御指摘について検討したいと思います。</p>
岡 部 委 員	<p>我々教育委員会が指摘されているわけですから、黙って見て見ぬふりをするというのもおかしいことなので、来年から気をつけますということですね。</p>
教 育 長	<p>今までの10年間の実施方針の目標、また、今年度、29年度から新たな実施方針ができましたので、そことの兼ね合いとその目標がちょっとそぐわないというような点について、事務局から少し説明していただけますか。</p>
教 育 次 長	<p>この評価について、大変難しい部分がございます。これは、教育行政実施方針に限りませんで、市の総合計画等の評価におきましても、できるだけKPIなどの数字で見れるような部分は数値を上げて、数値を上げることによって明確に評価ができるというようなことはあるんですが、一方でなかなかその数字だけでは見えない部分があったりと、評価をする上で非常に難しい部分がございます。</p> <p>そういう中で、今回、山崎先生もそうですが、別府大学の長尾先生からも、11ページにありますように、学校教育の充実の中で山崎先生と同じように、A評価とはしているが、全体の達成率などで見るとそうは言えないのではないかというような御意見があります</p>

<p>教 育 長</p> <p>永 山 委 員</p>	<p>ので、そのあたりも十分踏まえた中で、できるだけ数字が反映できるような形での評価を行っていきたいと思っております。</p> <p>今度の総合計画中でも、まち・ひと・しごと創生総合戦略の中でも、K P I の数字をかなり上げてきたところでもありますので、そのあたりとの連動といいますか、整合性を保ちながら、改めて評価について見直しを図っていくことが必要だというのは感じておりますので、そういった方向で29年度からが新たな取組の分になりますので、そこを踏まえて評価をしていきたいと思えます。</p> <p>ほかにございますか。</p> <p>先生方からの意見書をよく読んで、個人的な感想なんですけど、言わせてください。</p> <p>特に5ページの山崎先生のところ、今の教育委員としてのあり方を考え直すきっかけになりました。どうしても私たちは、自分が住んでいる地域のこととか、近所にある学校のこととか、すごく小さい範囲でいろんなことを考えてしまいがちなんですが、こうやって先生が教育委員会の活動を整理してくださったのを読むと、やはり教育委員会というのは、日田市全体の教育施策というのを考える立場にあるというのを感じました。</p> <p>それで、やはり研修とかにもちゃんと参加して、それから教育委員会が所管するいろんな行事に参加するということにも意味がありますね。教育行政は学校教育だけではなくて、生涯学習も、社会教育も、スポーツも、文化も、すごく広い範囲のことを考えるに当たって、いろんなところに参加して、広い視点を持つというのが大事だなと思いました。</p> <p>もう一つ反省したのが、いろんな審議会に参加するときに、山崎先生が、「新教育委員会制度導入により」という真ん中からちょっと下の段落に書いてくださってるんですが、「教育委員が審議員として政策に関する意思決定過程に参画する」という一文があって、私はこんなに重い責任を持って参加していたということをもっときちんと背負っていかなければいけなかったんだと思いました。いろんな審議会の参加にも、形式的ではあってはいけないと痛感したところです。</p> <p>もう一つは11ページの長尾先生のところなんですけど、2番、事務・事業の管理及び執行についての1つ上、少し上のところの最後の段落です。「目的は「市民と共に創る教育行政の推進である。市民の意見を多様な角度から取り込むことが重要であり、取り込むための工夫を今後求めたい」というところがありまして、こういうこ</p>
-----------------------------	-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

	<p>とを私たちはいつも事務局の提案を待つばかりではなく、例えば、この間研修に行った後に、諫本委員がここで提案してくださったように、キャリア教育をどんなふうに日田市が取り入れていきたいかというのを、こちらから提案するような機会をきちんとつくりなければいけないと思いました。</p> <p>それで、教育委員もなるべく研修に参加したら、みんなにフィードバックするような話し合いをしたり、それを今後どう生かしていくかという視点で、いつもみんなと話をしながら提案していけるような考えを持って、勉強していかなければいけないと、私の個人的な感想です。とても勉強になったので、ありがとうございました。</p>
岡 部 委 員	<p>関連でいいですか。今、ちょうど同じ意見が出たので。</p> <p>宮崎に研修に行ったときに、大変すばらしい商工会議所の人たちも加わったキャリア教育があって、ああいう組織というか、制度を日田市でもつくったらどうかというのが、前々回、諫本委員さんから提案があって、これは身内から一番いい意見が出たんじゃないかという気がしたんです。ただ、いつ誰が動き出すのかというのが分からない。動き始めるときが一番難しいんですけど、これは、大変にすばらしいことですが、大変労力が要ることです。誰がリーダーシップをとって進めていくのかということもあります。</p>
諫 本 教 育 長 職 務 代 理 者	<p>いいですか、ちょうど永山委員と同じようなところを、私も見ていたんですが、せっかく教育委員会の前に勉強会がありますので、10分でも15分でもいいので、皆さんと意見を交わすような時間がとれば考えがまとまるし、どうすすめようかというようなことも決められると思うので、できればその辺を少し利用させていただければというようには考えているところです。</p>
教 育 長	<p>事務局のほうから意見をお願いします。</p>
書 記	<p>現在、定例教育委員会の前に開催しております勉強会は、議案の事前説明など、事務局からの説明や報告のみとなっておりますが、教育委員さん方の協議時間というご提案がございましたので、時間枠の確保など御相談させていただきたいと思います。</p>
教 育 次 長	<p>キャリア教育の関係ですが、教育委員会としてもキャリア教育の問題というのは、課題として捉えております。</p> <p>また、商工観光部でも、キャリア教育の取組の考えがありますので、連携した取組を進めていくということで、話をしているところで</p>

	<p>ございます。</p> <p>具体的な取組をどう進めるのかというのは、まだまだこれからというところではありますが、そういった課題を認識しておりますし、業界団体についても、特に日田の子供さんたちの多くが市外に出ていっているというような現状がありますので、ぜひ日田に戻っていただきたいというようなことは、業界団体等も課題として抱えているようでもありますので、今後、その取組を進めていかないとけないという認識はお互いにありますので、どういう形でできるかわかりませんが、委員さん方の研修の成果等を踏まえながら検討していきたいと考えております。</p> <p>以上でございます。</p>
<p>諫本教育長 職務代理者</p>	<p>その話になったので、勉強会の時間をとるというのは、それに限らずちょっとした課題があるようなところとかは、私たちも勉強とか意見を交わせることができると思いますので、そういう話題があるときには、少し深めるような時間をとっていただければと思います。</p> <p>キャリア教育に関していうと、昨日、学校訪問があつて、あちこち見て回ってますと、もう前からそうですけど、かなり地元と協力しながら職場見学であったり、昨日の話では牛のお世話をさせてもらえるように連絡して、地元の方もかなり積極的に協力していただいて、子供たちもキャリア教育の一環というものをあちこちで経験を、もう学校側でもされている状況というのは、かなり確認できたんですが、むしろ社会側というか、周りの地域とか、企業側の意識とか、そういう意識づけとか形づくりとかいうところで、市内全部でそれを持ち上げてやるような形づくりのほうが必要なんだというように、昨日は感じたところでした。</p>
<p>教 育 長</p>	<p>関連してございますか。よろしいですか。</p> <p>教育委員さんからそういう御意見等をいただいておりますので、事務局のほうで、勉強会等で少し御提示できるようなところで提示して、今、どんなことを実施していて、今後、どういうことができるのか、どういう部署、あるいは商工会議所等々、どのような組織があるのか等も含めて御提示いただくと、教育委員さん方にも御理解いただいて、なお一層このところをもっと強化すれば、もっと充実するんではないかなど、学校現場も大変忙しい中、いろんなことを行っていますので、学校の現場、校長等も含めて協議ができるようになる、より充実していくという感じがします。</p> <p>いずれにしても、充実することは大変日田市にとっても、子供た</p>

<p>教育総務課長</p>	<p>ちにとってもいいことではないかというようには、私も思っているところでは。</p> <p>この件については、よろしいですか。</p> <p>それでは、次に移りたいと思います。報告第19号について説明をお願いします。</p> <p>報告第19号について説明いたします。議案集は14ページになります。</p> <p>旧日田市立大山中学校の校舎等の取り壊しについてでございます。</p> <p>所在地は日田市大山町西大山4267番。</p> <p>校舎の施設概要ですが、管理棟室と特別教室棟、倉庫、部室、卓球場、給食コンテナ室、屋内運動場、武道場棟でございます。</p> <p>取り壊しの内容につきましては、今申し上げた1番から5番の取り壊しでございます。7、8の屋内運動場と武道場については、取り壊しをしないということでございます。</p> <p>取り壊しの理由としましては、旧大山中学校は、平成27年4月に大山小学校と大山中学校が小中一貫校として移転したことに伴い、廃校となりました。廃校を受け、地域住民と市で跡地地活用を検討した結果、校舎の活用が難しく校舎を解体し、企業誘致用地とすることが決定したことから、当該施設を取り壊すものでございます。</p> <p>なお、屋内運動場及び武道場については、利用者が多いことから、社会体育施設として引き続き利用します。</p> <p>企業誘致につきましては、現在決まってはおりません。</p> <p>取り壊しの年月につきましては、平成29年11月からでございます。</p> <p>15ページに配置図をつけておりますが、赤い部分が今回取り壊しを行う施設でございます。</p> <p>そして、左側の屋内運動場と武道場、白になっておりますが、この施設については取り壊しから除外されておまして、社会体育施設として引き続き利用するというものでございます。</p> <p>以上でございます。</p>
<p>教 育 長</p>	<p>報告第19号について、何か御質疑等ございますでしょうか。</p> <p>(「なし」と呼ぶ者あり)</p> <p>よろしいでしょうか。</p> <p>それでは、次の報告に移ります。報告第20号について説明をお願いします。</p>

<p>教育総務課長</p>	<p>報告第20号について説明いたします。議案集は16ページになります。</p> <p>旧日田市立塚田小学校の校舎等の取り壊しについてでございます。</p> <p>所在地は、日田市天瀬町塚田816番地。</p> <p>施設概要につきましては、管理教室棟、ランチルーム、屋内運動場、プール専用附属室、もう一つプール専用附属室、それから、倉庫、ポンプ室と便所でございます。</p> <p>取り壊しの施設につきましては、1から6及び8ということで、7番ポンプ室、これについては取り壊しから除外されております。</p> <p>取り壊しの理由としましては、塚田小学校は児童数の減少に伴う教育環境の整備を目的として、平成24年4月に五馬市小学校、出口小学校と統合したことにより廃校となりました。廃校を受けて、地域住民と市で跡地利活用を検討した結果、校舎を解体し駐車場用地とすることが決定したことから、当該施設を取り壊すものでございます。</p> <p>取り壊しの年月は、平成29年11月からでございます。</p> <p>17ページをお願いいたします。</p> <p>赤い部分が、取り壊す対象の建物でございます。</p> <p>なお、ポンプ室につきましては、将来的には活用の可能性もあることから、取り壊しから除外されております。</p> <p>それから、プールについては、これは財産台帳には入っておりませんので、赤い色をつけておりませんが、実際には取り壊すということでございます。</p> <p>以上でございます。</p>
<p>教 育 長</p>	<p>報告第20号、旧日田市立塚田小学校の校舎等の取り壊しについてでございますが、何か御質疑等ございませんか。（「なし」と呼ぶ者あり）</p> <p>よろしいですか。それでは、報告事項は以上でございます。</p> <p>それでは、次のその他をお願いいたします。</p>
<p>佐 藤 委 員</p>	<p>今日の議案と関係ないんですが、今朝、テレビをつけたら、たまたまニュースで子供たちの教科書がどんどん厚く大きくなっているの、ランドセルの中身が10年ぐらい前の3割増しの重さになっている。そのために、腰痛などの健康被害が出ているということで、ニュースで取り上げられていました。</p> <p>自分の子供のときも、教科書、資料集がすごく多くて、中身がすごく、8キロ、9キロ、あるいは10キロぐらいになるんです。そ</p>

	<p>れで担いで行ったり、自転車を運転したりと確かに余り背骨によくないのではないかと感じたことがあったんです。それから、自転車を運転していくときも、危ないのではないかなと感じたこともあります。</p> <p>今の学校では、先生方あるいは保護者の皆さん、どういうふうに思っているのか、もし分かれば、今日じゃなくて次回で結構ですので、教えていただければありがたいと思います。</p>
教 育 長	<p>今何かお答えできることがあれば。</p>
学 校 教 育 課 長	<p>今は、その情報を把握しておりませんが、確かにおっしゃるように、教科によっては、教科書のページ数が増え、厚く大きくなっています。また、学年によっては、数も増えていることは把握しています。腰痛などの健康被害が出ているかどうかも含めて、調べてからご報告いたします。</p>
教 育 長	<p>よろしいですか。それでは、次回までに調べて報告をお願いします。</p> <p>ほかにございますか。よろしいですか。</p> <p>それでは、教育総務課長から次回の日程をお願いします。</p>
教 育 総 務 課 長	<p>次回の定例教育委員会でございますが、11月24日の金曜日、午後3時から開催したいと思います。勉強会につきましては、午後1時30分からでお願いいたします。</p>
教 育 長	<p>よろしいですか。次回、11月24日金曜日、定例教育委員会を15時からということでございます。勉強会が、午後1時30分からでございます。</p> <p>ほかにございますか。ないようですので、以上で本日の定例教育委員会を閉会いたします。お疲れさまでございました。</p> <p style="text-align: right;">終了時刻：午後3時39分</p>